

# 1 世界遺産推進プロジェクト

## プロジェクトの概要

長崎市には、平成27年7月に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」と、平成30年の世界遺産登録をめざしている「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」があります。

そこで、このプロジェクトでは、2つの世界遺産登録の実現に向けて、世界遺産委員会における勧告の対応や構成資産の保全を行うとともに、世界遺産登録を見据え、来訪者の受入態勢の充実、周知啓発等を進め、来訪者の満足度や市民の機運醸成を高め、世界遺産を活用した交流人口の拡大による地域活性化をめざします。

## 目的 (ゴール)

### 何を（対象）

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」  
「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」

### どういう状態にしたいのか（意図）

2つの世界遺産が登録され、構成資産を適切に保存・活用するとともに、世界遺産の価値を国内外に発信することで交流人口が増加し、世界遺産が地域経済の活性化に寄与している。

## これまでの成果

平成27年7月の世界遺産委員会において、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録された。

「潜伏キリシタン関連遺産」の推薦書（正式版）が平成29年2月1日にユネスコ世界遺産センターへ提出された。

## これまでの課題

「産業革命遺産」は、第39回世界遺産委員会において8項目の勧告が示され、平成29年12月までに進捗状況の報告を求められている。また、構成資産を後世に伝えるための保護措置を進める必要がある。

「潜伏キリシタン関連遺産」は、平成29年のイコモス現地調査の対応を行うとともに、大野集落の資産保護のため、世界遺産登録前までの重要文化的景観選定が必要である。

## 平成29年度の取組方針・主な取組み

## 取組方針

- 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界遺産委員会における勧告への対応、構成資産の保護措置及び世界遺産価値の理解促進を推進します。
- 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の平成30年の世界遺産登録を推進します。

主な取組み

《明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業》

- 世界遺産登録における世界遺産委員会勧告に対応するとともに、構成資産を保全し価値を後世に伝えるため、調査や保全のための整備に取り組みます。  
(主な事業)
  - ・ 端島炭坑跡の遺構調査
  - ・ 端島炭坑70号棟下部埋戻し工事
- 平成27年の世界遺産登録後に増加している来訪者の満足度向上を目指し、更なる受入態勢の充実を図るとともに、関係自治体と連携して周知啓発等を行い、世界遺産価値の理解促進を進めます。  
(主な事業)
  - ・ 世界遺産の構成資産見学者に対する安全誘導対策
  - ・ 構成資産の来訪者調査

関連事業	「明治日本の産業革命遺産」推進費	48,194 千円
	世界遺産観光客受入費	55,282 千円
	世界遺産保存整備事業費（「明治日本の産業革命遺産」）	66,800 千円
	文化財保存整備事業費 （国指定史跡高島炭鉱跡高島北溪井坑跡）	14,000 千円
	文化財保存整備事業費補助金 （国指定史跡小菅修船場跡）	1,087 千円

《長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産》

- 平成30年の世界遺産登録を目指し、イコモス現地調査の対応を行うとともに、重要文化的景観「外海の石積集落景観」追加選定を進めます。  
(主な事業)
  - ・ イコモス現地調査対応
  - ・ 集落（自然特性・家屋）調査
- 来訪者の満足度向上を目指し、更なる受入態勢の充実を図るとともに、関係自治体と連携して周知啓発等を行い、市民の機運醸成を図ります。  
(主な事業)
  - ・ 出津地区歩行者ルート手摺り設置
  - ・ 文化的景観説明板設置
  - ・ 文化的景観（大野地区）パンフレット作成
  - ・ 文化的景観（大野地区）回遊マップ作成

関連事業	「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」登録推進費	22,768 千円
	文化財保存整備事業費補助金 （国宝大浦天主堂）	5,386 千円
	世界遺産観光客受入費（再掲）	55,282 千円